

議会だより

やまと

山都

第48号

熊本県山都町議会

2023.5
3月定例会



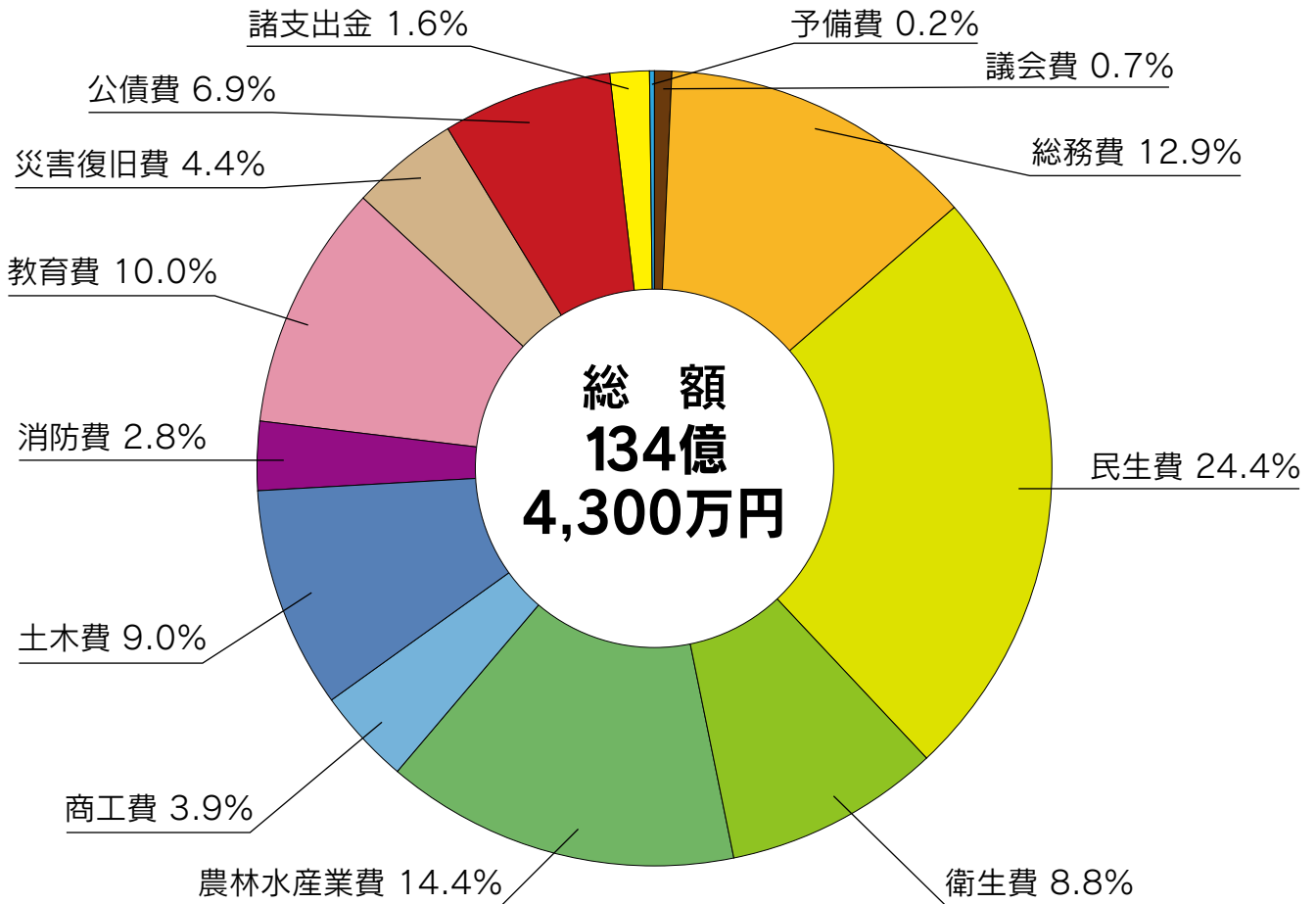
男成神社 春の例大祭
4年ぶりの少女神楽

3月定例会

令和5年第1回定例会は、令和5年3月2日に開会し15日に閉会しました。条例の改正・制定が11件、補正予算6件、新年度予算8件、工事請負契約1件、その他1件を審議・可決しました。副町長、教育委員1名、固定資産評価審査委員会委員3名の人事案件を賛成多数で同意しました。

令和5年度 一般会計予算は、総額134億4,300万円となりました。

歳出予算額(目的別)構成比



歳入予算額

項目	予算額 (千円)	構成比 (%)
町税	1,283,951	9.6
分担金及び負担金	53,382	0.4
使用料及び手数料	108,289	0.8
繰入金	908,058	6.8
繰越金	100,000	0.7
財産収入	15,556	0.1
寄附金	150,001	1.1
諸収入	134,667	1.0

項目	予算額 (千円)	構成比 (%)
地方交付税	5,600,000	41.7
地方譲与税	294,252	2.2
各種交付金	376,900	2.8
国庫支出金	2,213,101	16.5
県支出金	1,403,443	10.4
町債	801,400	6.0
歳入総額	13,443,000	100.0

項目	予算額 (千円)	構成比 (%)
自主財源	2,753,904	20.5
依存財源	10,689,096	79.5
合計	13,443,000	100.0

(備考) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入のため合計が合わない場合があります。

令和5年度一般会計予算の主なもの

地域おこし協力隊事業費(18名)

6,685万円 単費(交付税措置)

報酬、費用弁償、活動助成金等

自治体電子化推進事業

2,120万円 国補助1/2

コンビニ交付システム・電子申請受付システム導入業務委託料、セミセルフレジ購入

保育園留学事業業務委託料

550万円 単費(補助申請調整中)

保育園留学コーディネーター料

重層的支援体制整備事業委託料

474万円 国補助3/4

複合化した相談の解きほぐしのための相談支援、支援プラン作成等

移動販売支援事業補助金

400万円 単費

買い物困難者に対する移動販売事業者への支援

清和文楽新作制作事業負担金

767万円 単費 県 **900万円**

今後、清和文楽館での定期公演化、全国公演化の準備。総事業費1,900万円

大川観光トイレ整備事業

2,800万円 単費

フットパス参加者、周辺史跡の観光客や町民に開放する施設

防災用井戸整備事業

150万円 単費

小一領神社近くにある井戸を防災用井戸として整備する

SDGs推進事業

3,180万円 国補助1/2

給食有機米・野菜購入費、総合学習事業委託料、表彰制度事業業務委託料、SDGsフォーラム開催業務委託料など

児童生徒机椅子購入費等

1,737万円 単費

タブレット導入に伴い、教室の机サイズの拡大が必要となったため

森林環境譲与税事業

7,371万円 森林環境譲与税基金繰入金

Jクレジットプロジェクト登録手数料、意向調査委託料、森林環境明確化事業委託料、森林整備事業補助金など

道路維持・道路新設・改良工事舗装更新 ・落石防止・河川浚渫

6億3,241万円

図書館公用車購入

724万円 防衛調整交付金

移動図書わくわく号の更新

木質バイオマスボイラー導入調査委託料

437万円 森林環境譲与税繰入金

一般会計予算
Q&A

問(工藤) 若い人材への投資が必要ではないか。これからは正職員を増やして町づくりをしたらどうか。

答 総務課長

募集においても応募が少なく、財政困難な中で十分に人件費を捻出できないが、適正な人材獲得は努力していく。

問(藤川) 地域おこし協力隊員の応募は募集数に満たないのか。

答 企画政策課長

一括して募集する(18名)。地域定着率は50%。

問(坂本) 保育園留學事業の内容は。

答 山の都創造課長

都市部の子育て世帯を対象にテレワークと二時保育を合わせて実施する。体験メニューも設定し山都の環境を知っていただき、二拠点生活の選択肢に入る工夫をしたい。

問(藤川) 重層的支援という新しい事業は、これまでの支援と何が違うのか。

答 福祉課長
アウトリーチ型(危険を察したら手を差し伸べる方法)であるところ。

問(吉川) 移動販売の補助事業にはすでに予定があるのか。どのように配分するか。

答 福祉課長

1件分である。現在町内外から相談を受けている。

問(藤川) 防災用井戸整備後の維持管理は。

答 総務課長

小一領神社近くの民有地にある井戸を町が整備し肥後銀行が維持していく予定。

問(坂本) SDGsフォーラム事業の内容は。

答 山の都創造課長

山都町マルシェの同時開催を予定。テント設営、広告、駐車場関係の警備員配置の経費を含む。企画コンペ方式で受託先を決定する。

問(矢仁田) ジビエ工房は、肉を販売し利益を出すべきではないか。

答 農林振興課長

ジビエ工房は自立を基本方針としている。

問(興梠) 二瀬本ふれあい館の味噌づくり設備のそよ風パークへの移転後の運営形態はどうなるか。

答 農林振興課長

今後は、利用者のこれまでの積立金を活用して自主運営される予定。

問(飯開) Jクレジット関係の予算の内容は。

答 農林振興課長

JクレジットはCO₂の吸収量を算定してどなたかに買ってもらう仕組み。登録に120万円、モニタリング等に結構経費が掛かる。取引は相対で、町有林、8年間で最大700万円の売り上げ見込みである。

問(飯開) 山の全伐が増えていて、造林・下刈りの補助金を増やしてほしいという声を聞くが対応は。



全伐された山

答 農林振興課長
森林環境譲与税対応で、造林・下刈りに2,000万円ほど計上した。

問(眞原) 通潤橋案内サイト保守予算の目的は。

答 商工観光課長

ホームページ検索時、上位に出てくるように地元業者に調整してもらっている。

問(藤川) 服掛松キャンプ場は、キャンプブームでも人気である。当該指定管理者も将来独立採算制で運営していけると言っておられた。指定管理料の見直しは。

指定管理料は来年度の指定管理者公募の際に確認していきたい。



服掛松キャンプ場

問(藤川) 木質バイオの調査費は何か。

答 商工観光課長

令和3年度が事前調査であった。その結果も併せて今回の調査となる。そよ風パークと通潤山荘への導入を考えている。

問(藤川) 大川の観光トイレについては、政教分離の面で法に抵触しないか。

答 商工観光課長

神社のそばにはなるが、保育園もありフットパスのコースでもあり効果的に考えている。

問(吉川) 災害備蓄品のローリングストックはうまくいっているか。

答 総務課長

備蓄品の消費期限が切れる前に、防災訓練を開催するところに提供している。

問(工藤) 給食の無償化も進めたいところだが、センター方式を考えてはと思う。清和に計画している義務教育学校に設備を集約して各学校へ配送してはどうか。

答 学校教育課長

給食施設の老朽化対応を含め、早い時点で総体的な協議が必要だと考えている。

令和5年度 国民健康保険特別会計当初予算 25億9,590万円

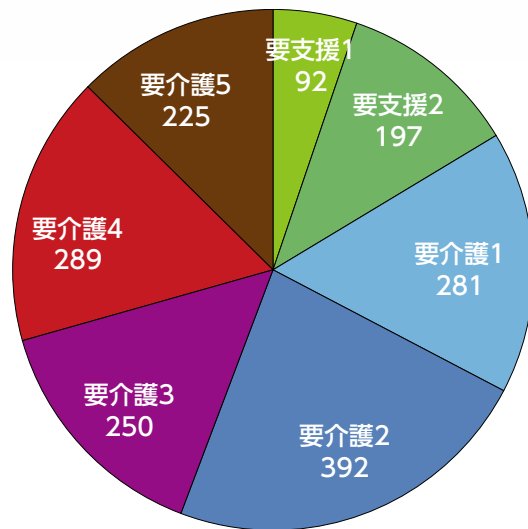
- ・被保険者数 4,206人、2,573世帯（令和5年1月末現在）

令和5年度 後期高齢者医療特別会計当初予算 2億9,336万円

- ・被保険者数 3,886人（令和5年1月末現在）

令和5年度 介護保険特別会計当初予算 30億2,220万円

- ・認定者数 1,726名（令和5年2月末現在）
- ・65才以上の人口6,887名
高齢化率 約50.8%
- ・介護認定者率 約25%



問（藤川） サロン活動(健康づくり事業)を社会福祉協議会へ委託しているが内容は？

答 福祉課長

旧町村単位で活動、矢部地区では地区社協、清和地区は福祉会、蘇陽地区ではシニアクラブを基本に自主的に行われている。蘇陽地区では、以前からシニアクラブへ委託していた経緯があり、活動が限定されている。

令和5年度 簡易水道特別会計当初予算 695万円

- ・簡易水道事業 1地区、飲料水供給施設 2地区、小規模水道施設 6地区

令和5年度 水道事業会計当初予算 3億4,169万円

- ・給水戸数 4,950戸、1日平均給水量 2,863m³

令和5年度 病院事業会計当初予算 12億2,437万円

- ・入院患者（見込み）17,568人、外来患者（見込み）45,118人

令和5年度 国民宿舎特別会計当初予算 699万円

- ・電気料、不動産鑑定料等

令和4年度 一般会計補正予算第11号 164億4,300万円

- ・ 地方バス運行等特別対策補助金 11,491千円減
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策交付金事業費 30,500千円減
- ・ 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業 4,037千円増
- ・ 障害者自立支援給付費 54,731千円増
- ・ 農業競争力強化基盤整備事業負担金 26,250千円減
- ・ くまもと間伐材利活用推進事業補助金等 18,895千円減
- ・ 町道維持管理基金積立金 17,841千円増
- ・ 公営住宅等管理費 10,033千円減
- ・ 国民健康保険特別会計繰出金等 10,901千円増
- ・ 繰越明許費 25事業 22億3,205万円

800万円減



基盤整備事業(芦屋田地区)

令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算第2号 26億8,621万円

- ・ 町民所得額の減少により国民健康保険税額が減

567万円減

令和4年度 介護保険特別会計補正予算第3号 31億5,475万円

- ・ 施設介護サービス給付費の増

2,407万円増

令和4年度 簡易水道特別会計補正予算第2号 978万円

- ・ 水道管更新工事の事業量の減

243万円減

令和4年度 水道事業会計補正予算第5号 3億5,421万円

- ・ 給水タンク購入事業による入札差額の減

122万円減

令和4年度 病院事業会計補正予算第2号 11億8,573万円

- ・ 外来患者・ワクチン接種委託料の増

1,921万円増



さかもと とうせい 議員
坂本 幸誠



全質問の動画はこちらです

第三者調査委員会の設置について、議会への報告をすべきでなかったか

問 パワハラによる第三者調査委員会設置に係る経過と経費は。

答 (総務課長)

職員からの申し出を受けて、令和4年3月に第三者調査委員会を設置し、事実関係の調査を行い令和4年8月24日に答申を受けるまで13回開催された。第三者調査委員会に要した費用は約185万円である。すべて町費で予備費を充当している。

答 (町長)

当時、適切な判断をして調査委員会の設置を議会に諮りながらすべきだったが、これを認めたのは私の責任だと思っている。

問 山下泰裕杯柔道大会の開催はできないか。

山下泰裕先生の故郷である山都町で大きな大会ができればと強く思っているが、諸般の事情もあり難しいと聞く。どのような規模等でするのか、まだ何も決まっていない中でまた熊本県柔道協会の方々や山下先生の思いなど決まっていないうので、この場で開催をすることへのコメントは差し控えたい。



令和4年度山下泰裕記念熊本県少年柔道大会の様子(山鹿市総合体育館)

問 町民の意見を聞くモニター制度の方針は。

答 (企画政策課長)

モニター制度は有意義なものと考えている。町民の方のニーズを把握し本町の政策に反映させ住民参加型のまちづくりを行うためにもまずは近隣自治体で行われているモニター制度の内容を把握していく必要があると考える。



よしかわ みか 議員
吉川 美加



全質問の動画はこちらです

町民向け各種講座を年間通した計画にできないか

問 年度当初に予算が決まるにもかかわらず、町民向けの講座が秋から冬にかけて開催されるのは何故か。

答 (総務課長)

行政の事業年度は単年度主義で、新年度は新たに業務を委託契約するが、手続きに時間がかかったり、前年度の事業の検証をしたりするのにかかる場合がある。

問 秋から冬だと、天候によって開催できない時もある。もっと気候が良い時の開催は考えないか。

答 (生涯学習課長)

教育委員会主催のIT講習会ではアンケートを取ったが、時期や時間に関して好評だった。

問 特に福祉課で開催している介護予防や認知症予防の講座は、当事者や家族にとってありがたい講座内容となっている。しかし厳

寒期の3カ月集中講座となっているため天候によっては参加しにくい状況もある。可能なら通年の講座にして、より受講生のためになって欲しい。認知症患者にとって切れ目ない支援、他者との関わりが重要と実感している。今後の方針を伺う。

答 (福祉課長)

町民が健康で生き生き暮らせる町づくりの支援に取り組んでいる。開催時期については住民健診の予定も考慮しながら計画しているが、介護予防に関しては継続した取り組みが大切と思っている。前向きに検討する。

問 委託業者だけに頼らず、年間通した取り組みには、介護サポーターや認知症サポーターの活用を。

答 (福祉課長)

サポーターが活動しやすい環境を整える支援に取り組む。



脳と体を一緒に動かします



まはら まこと 議員
眞原 誠



全質問の動画はこちらです

農林業の後継者問題をどう考えるか

問 農林業の後継者、担い手の不足は全国的な課題だが、町の実態は。

答 (農林振興課長)

2020年の農林業センサスによると、山都町の農業経営体数は1,567経営体で、そのうち後継者がいるとの回答が345経営体。約78%が後継者がいないと答えている。また、全国の基幹的農業従事者数は、2015年では175万7千人だったのが、2020年には136万3千人となり、22%の減少。山都町においても2,779人から2,325人と16%減少している。

問 すぐに答えの出せない難しい課題だが、農業の担い手や後継者の確保に向けて町ができることは何か。

答 (町長)

国民生活の安全安心を守るのは食料の自給率を上げることであり、農地を減らさないことや担い手の確保は、非常に重要な課題であると認識している。若い人たちが町内外から山都町での農業に従事してもらえるように、受け皿として、農地の基盤整備等を進めていく。

問 第二次山都町総合計画では、集落営農の推進と新規就農者の確保を掲げているが、令和4年度の実績はどうか。

答 (農林振興課長)

新規就農者は11名、そのうち3名が親元就農である。集落営農は2集落が組織化に向けて検討されている。



水害から自力復旧される高齢農家



にしだ ゆみこ 議員
西田 由未子



全質問の動画はこちらです

民間の産業廃棄物処理施設計画が適切かどうかの判断基準は何か

問 農林業を主軸とする山都町にとって、産業廃棄物焼却炉から排出される煙等による大気汚染や降雨による有害物質の懸念があるが、このことをどう考えているか。

答 (環境水道課長)

施設外部への影響が法令に抵触しない施設でなければ設置することができないので、今後のアセスメントの内容を注視していきたい。

問 この施設が適切であると誰がどこで判断するのか、その判断基準は何か。

答 (町長)

今後5町で協議しながら決定していきたい。

問 5町の町民の命と暮らしを守るために、事故が起きた場合の危機管理をどうするか、適当でない

と判断する基準は何かということと明確でない協定書には、疑義(意味するところがはっきりせず、疑問に思われる点が生じる事)があると思う。町長会で検討いただき、各町議会にも報告してほしい。

答 (町長)

一議員からの疑義として承っておく。

問 令和7年度からプラスチック分別に取り組むということであるが、できるだけ前倒しをしてほしい。

答 (環境水道課長)

モデル的な試行を経て、分別回収方法の検討・決定、必要な施設整備、その後の全戸への周知が速やかに行われれば、前倒しの可能性はあるが、慎重に進めたい。



プラスチックゴミ

議会全員協議会報告

令和5年3月14日

「国民宿舎通潤山荘の指定管理者である有限会社虹の通潤館の自己破産申立ての経緯について」

熊本地震による被災や、令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、宿泊者や利用者の減少が続き、資金繰りが困難な状況になり、3月3日の取締役会にて自己破産手続きの申立てを行うことに決定したことの報告がありました。

■ 経 過

令和5年1月18日	定例役員会	経営状況の説明と資金繰りについて
令和5年2月9日	臨時取締役会	(有)虹の通潤館の今後の運営について
令和5年2月22日	臨時取締役会	(有)虹の通潤館の今後の運営について
令和5年3月3日	臨時取締役会	自己破産手続き開始の申し立てを行うことに決定
令和5年3月9日	臨時取締役会	事業停止の時期について(3月25日に決定)
令和5年3月10日	従業員説明会	自己破産による休業及び解雇手続きについて説明

令和5年3月28日

「国民宿舎通潤山荘の指定管理者である有限会社虹の通潤館の自己破産申立てと事業再開に向けた方針について」

今後は、「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供する施設」という設置目的の達成が可能な管理運営先に、土地・建物の所有権を移転し、民営化する方針に決定したことの報告がありました。

■ 経 過

令和5年3月25日	事業停止
令和5年3月25日	指定管理者の取り消し処分

浜の湯温泉



国民宿舎通潤山荘



移動手段をもたない入浴施設利用者に配慮して、町ではバスセンター発着による清楽苑への無料送迎を開始しました。

- ・月曜日～土曜日 午後3時に仲町バスセンター集合
- ・入浴料金 210円

詳しくは福祉課(72-1229)へお問い合わせ下さい。

義務教育学校の設置計画

「清和地区義務教育学校 基本構想、基本計画」

令和9年4月開校を目指す、清和地区における義務教育学校の開設について、基本的な計画が提示されました。昨春秋、義務教育学校設立準備委員会が立ち上げられ、学校関係者、PTA代表、子育て中の保護者、これから子育てをする世代の方々を選出し、これまで4回の準備委員会が開催されました。会議等を経て策定された基本構想と基本計画が発表されました。

《基本構想》

▼教育理念

時代を生き抜く力を持ち、未来を拓く

▼目指す学校像

- 学ぶ意欲と確かな学力が身につく学校
- 豊かな表現力とつながり合う心が育つ学校
- リーダーシップと起業家精神の芽生える学校



いつも「夢」と「誇り」を持ち

予測困難な時代をも生き抜く力を蓄える学校

《基本計画》

- 建設敷地 ページ下に別記
- 教室の配置
教室の他に多目的スペースを設置し気持ちの休まる空間にする。
- 地域社会との連携
図書室にメディアセンターの機能を。地域住民の活動スペースも予定。
- 給食体制の検討
町内の給食施設の老朽化と職員の不足が慢性化しており、給食体制を総体的に考える必要がある。

《開校までの施設整備、協議計画の予定》

施設建設関係		準備委員会
5年度	<ul style="list-style-type: none"> • 用地取得手続き/平面図作成 • 見積もり、プロポーザル 	準備委員会の中に複数の部会を設け具体的に検討していきます。 <ul style="list-style-type: none"> • 教育課程、学校統合関係
6年度	<ul style="list-style-type: none"> • 建設基本設計、実施設計 • 造成工事 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒指導、通学、家庭・地域関係 校則や学校生活の決まり、制服の事など 通学関係(スクールバス路線など) コミュニティ・スクール導入の検討
7年度	<ul style="list-style-type: none"> • 新校舎等建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> • 開校閉校、組織事務関係 校章、校歌 公務の効率化、情報化の検討 新設校への移転作業計画
8年度	<ul style="list-style-type: none"> • 新校舎等建設工事 • 外構工事 	
9年度	4月	義務教育学校の開校

◆建設候補地は清和地区の町有地に絞り検討されました。

準備委員会での意見を参考に教育委員会が決定します。

- ① 現・阿蘇森林組合加工所(元菅原織物工場)
- ② 現清和中学校敷地
- ③ 現清和小学校敷地 (優先順)



条例制定／改正

【山都町空家等対策協議会設置条例】

- 空家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき、山都町にも対策協議会を設置するための条例です。
- 設置の目的は、空家等対策計画の策定/空家の適正な管理/※特定空家等の認定と措置/空家等の対策の執行について協議を行うものです。

※特定空家とは、国交省が示している4つの項目(倒壊のおそれ、衛生上のおそれ、著しく景観を害する、放置することが不適切)に該当する空き家の事です。民家も店舗も適用対象です。

【山都町消防団の定員、任命、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の改正】

- 消防団員数の減少を理由として、消防団の定員を600人から500人へ変更し、消防団の分団を再編するものです。団の再編は以下の図を参照。

※質疑では、団員の減少で統合は致し方ないが、地域防災への意識減退につながらないか懸念される。今後も団員獲得への努力を続けて頂きたい、などの意見が多かった。



▲令和5年3月の出初式

分団再編について ※2方面隊・14分団を2方面隊・8分団に再編

R5.3月 まで	H17~H26		矢部方面隊							清和方面隊			蘇陽方面隊			
	本部	女性隊	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	第9分団	第10分団	第11分団	第12分団	第13分団	第14分団
	H27~		西部方面隊							東部方面隊						
R5.4月 から	本部	女性隊	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団						

【山都町立体育館条例の改正】

熊本地震の被害を受けて以来、使用出来なかった朝日西部体育館の取り壊しが決まったことから、体育館条例中の朝日西部体育館の項を削るものです。 ※体育館解体費用は1,870万円です。

【山都町小中学校設置条例及び山都町立学校体育館施設の開放に関する条例の一部改正】

潤徳小学校の閉校に伴い、この条例中の「潤徳小学校」の項を削るものです。
※この条例は、潤徳小学校が閉校した後の、令和6年4月1日から施行されます。

新体育館の名称決まる

山都町総合体育館 **パスレル**

75作品の応募があり、審査の結果「パスレル」に決まりました。「パスレル」はフランス語で架け橋を意味しています。愛称として呼びやすく覚えやすい、と選定されました。



▲議会では、体育館アリーナの天井に使用する木トラスの耐荷試験の見学をしました。町有林のヒノキを使用。

陳情

【陳情第1号】

件名：農業委員会への女性登用に関する要望書

陳情者：くまもと農業委員会女性委員の会長 福嶋求仁子

陳情内容：農業委員会が農地活用の業務を実施する際には、就農者の過半を占める女性の視点や思いを反映させることが重要であるが、現在農業委員の女性参画率は8%に止まることから、女性委員の登用について配慮を頂きたい。

審査結果：趣旨採択

審査意見：農業委員会の委員選出については、なり手不足が深刻な中、特に女性委員の選出について町議会の協力も必要だと考える。

議会運営委員会の役職交替について

工藤文範議員から議会運営委員長と委員の辞任の申し出があり、議長が許可し、交替の人事を行いました。議会運営委員会の人事は委員の互選によって選任されます。

委員長 後藤 壽廣 議員
(厚生常任委員)

副委員長 眞原 誠 議員
(経済建設常任委員)

尚、工藤議員の後任として、総務常任委員会の興柁誠議員が議会運営委員に選任されました。

人事案について同意しました



菅尾在住 65歳

【山都町副町長(新)】

ならばやし りきや
榎林 力也さん

梅田町長のまちづくりの最大化に全力で取り組みます。そのためには議会との信頼関係が不可欠です。情報を正しく共有し議論を深めたいと思います。

【山都町教育委員】

高橋 稔朗さん (鶴ヶ田 2期目)

【山都町固定資産評価審査委員会委員】

上野 善宏さん (上 寺 4期目)

片岡 教行さん (高 月 6期目)

後藤 冠さん (二瀬本 5期目)

賛否の表

○：賛成 ●：反対 △：欠席

議 件 名	議 決 年 月 日	採 決 結 果	東	坂本	眞原	西田	中村	矢仁田	興柁	藤川	飯開	吉川	後藤	工藤	藤原
同意第5号 山都町副町長選任について同意を求める件	R 5.3.15	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
同意第1号 山都町教育委員任命について同意を求める件	R 5.3.15	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
同意第2号~4号 山都町固定資産評価審査委員会委員選任について同意を求める件	R 5.3.15	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

「議会だより」に関する
ご意見・ご感想は
右記のQRコードから
お寄せください。




次の定例会は、
6月の予定です。

※詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせください。(☎72-1289)

※感染拡大防止のため、傍聴席数が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

本誌で掲載していない3月定例会の議案と議決結果は、山都町HPに掲載しております。





発行責任者
議長 藤澤 和生

議会広報委員会
委員長 藤川 多美
副委員長 坂本 幸誠
委員 東浩 幸誠
中村 浩昭
飯開 五彦
吉川 美加

編集後記

高速道路がやって来る今年度、迎撃のための予算も可決し、桜咲く季節を迎えた矢先、3月定例会の最中に「通潤山荘閉館」のニュースが飛び込んだ。時間は巻き戻せない。今は山都町の全ての魅力を集めて前進するだけだ。ダメージが最小限に止まることに議会も注力して、通潤山荘の再生を待ちたい。

(吉川美加)